

# 広瀬川通信

2015. 1. 4

発行：特定非営利活動法人 広瀬川の清流を守る会

〒982-0011 仙台市太白区長町一丁目2-16-201

☎022-247-6522 ㊟022-290-3205

URL <http://www.hirosegawa.com>

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、穏やかな元旦を迎えられたことと存じます。

今年も、広瀬川の活動にご支援を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

さて、今回も引き続き、広瀬橋上流右岸で越冬する20羽ほどのハクチョウを紹介します。

灰色の子供ハクチョウも親に倣い、河川敷の草の根をついばんでいました。パンを与えればよく食べますが、「本来は植物食の鳥ですからやらないことです。」と野鳥の会会員から。

好物は、マコモ（植物）の茎と根です。

出来れば、川に好物のマコモを植えたいものですね。



（広瀬橋上流）

<平成27年 初歩き>（当日参加 OK 但し、事前に 電話かメールで連絡下さい）

1/10（土）午前10時 広瀬橋榎姫明神前集合 広瀬川初歩き11時頃 その後に新年会（懇親会実費）

コース 広瀬川（広瀬橋→ 旅立明神（稲荷）→ 五十集屋）（新年会 会費2千円）



<報告12月清掃>（1～2月清掃はお休みです）

今年最後の広瀬川清掃を郡山堰からJR橋まで清掃し、ビンカン、ペットボトルなど30袋以上を回収しました。終了後、参加者に焼き芋が配布され、アツアツの芋を美味しく頂きました。

会長から「また来年よろしくお願ひします」

←（12/13広瀬橋上流 右岸）

<その他の報告>

年末、国交省仙台河川国道事務所から本会に対し、「河川協力団体指定」の申請依頼があり、12月26日に申請書を提出しました。活動振興目的ですが、詳細については、今後の協議の結果となるようです。 また報告します。

<広瀬川伝説・> 三原良吉著「旅立明神とネギ洗い」から

昔、江戸道中は69次（宿場）、7泊8日の道中。その旅の安全を祈るのが河原町側広瀬橋のたもとにある旅立明神（平泉時代に創建され、政宗公のときに京都伏見神社から分霊）です。江戸へ上る伊達政宗公も庶民も必ず参拝したと言われています。当時の広瀬橋は、現在の橋より少し上流にあり、橋を渡れば、長町側の橋姫明神の前を過ぎて直ぐに当時の柵形道路が今でも見られます。そして稲荷神社前の河原をネギ洗の瀬、その下流の松原地蔵堂は、天明、天保の大飢饉の史跡として有名で刑場もあり、当時の墓地も多いとか。バイパスを過ぎ、名取川との合流点も近くです。